

岡山県 美作・水源の森を題材に

ESD(環境教育)プロジェクトを実施しました!



2014年は「国連ESD(持続可能な開発のための教育)の10年」の最終年です。

三井住友信託銀行では、環境専門のインターネット放送局グリーンTVジャパンとの協働によるESDプロジェクトとして、次世代を担う子供たちに向けたナショナル・トラストの普及啓発活動に取り組んでいます。

2012年は和歌山県・天神崎、2013年は神奈川県・小網代の森を題材としたプロジェクトを実施してきました。

2014年、第3弾となる企画は、11月にESDに関するユネスコ世界会議が開催される岡山が舞台です。

岡山県央に位置する美作に広がる豊かな森は、県の三大河川のひとつである吉井川(一級河川)の上流にあります。水源の森から流れる吉井川は、古くから人々の暮らしを支えてきました。62万平方メートル余りのこのトラスト地は、かつて兵庫県にお住まいの方の私有地でしたが、豊かな環境が将来に残されるならと、公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会に寄付されたものです。

9月10日(水)、岡山市立角山小学校にて実施されたESD(環境教育)プロジェクトでは、この美作・水源の森を主軸に、当社社員がファシリテーターとなってICT(情報通信技術)を活用した環境教育授業を実施しました。

授業のテーマは、「水の大切さについて考える」。

1年生～6年生までの全校生徒は、美作にある水源の森で撮影された映像を見ながら、身近な川が上流の森とつながっていることや、森を守ることが水に暮らす生きものを育むこと、豊かな森がもつ保水機能が下流の洪水などを防ぐ役目を持つことなどを学びました。



授業の最後に「水源の森を守るために何ができるか」と問いかけると、「水を大切に使う」、「ごみを捨てない」、「ナショナル・トラスト活動に参加する」等、子供たち自らが考えたたくさんのアイデアが寄せられました。



当社ESDプロジェクトの詳細は、11月7日(金)～8日(土)に岡山コンベンションセンターにて開催されるESDに関するユネスコ世界会議サイドイベント「岡山ESD交流発信の場」に出展するブースにてご覧いただけます。

※イベント詳細につきましては、岡山市ホームページをご覧ください。

岡山市HPリンク http://www.city.okayama.jp/esd/esd_00055.html

この機会に、皆様の身近にあるトラスト地に興味を持っていただければ幸いです。